

近年発行された岩盤工学に関する物理探査関係の書籍

表題	著者	出版社	販売価格	ページ数	発行年	概要
物理探査ハンドブック	物理探査学会	物理探査学会	¥15,000	1408p (7分冊)	1999	本書は、手法編とケーススタディ編からなり、多くの探査手法を網羅したハンドブックである。手法編の各章では、個々の物理探査手法の歴史、基礎事項、データ取得技術、データ処理技術、データ解釈技術および最新の技術動向の項目について解説がなされている。ケーススタディ編では、それらの手法を用いた事例が豊富に紹介されている。
物理探査適用の手引き (とくに土木分野への適用)	物理探査学会物理探査要領作成委員会	物理探査学会	¥5,000	311p (CD-ROM付き)	2000	本書は、物理探査の土木建設、地盤環境・地盤災害に関する研究者・技術者だけでなく、調査の発注機関、設計、施工技術者などに広く活用されることを目的とした手引き書である。特に第Ⅲ編では、計画実施要項(案)が示されており、適用対象、調査計画、計測、解釈、成果品などの実務に即した記述となっている。英語版、韓国語版も出版されており海外でも広く使われている。
地盤工学への物理探査技術の適用と事例 地盤工学・実務シリーズ(14)	地盤工学会地盤工学への物理探査技術の適用と事例編集委員会	地盤工学会	¥7,245	445 p	2003	本書は、物理探査によって得られた調査試験データの土木・地盤・建設分野の設計・施工における評価を重点的に述べている。また、防災・環境・維持管理における適用例を豊富に紹介し解釈・評価のマニュアルとして役立つ。
地盤の可視化と探査技術—比抵抗高密度探査法の実例	災害科学研究所トンネル調査研究会	鹿島出版会	¥5,985	187 p	2001	本書は、2次元比抵抗高密度探査に焦点を当てて、地盤の可視化と探査技術について、わかりやすく解説している。現場において地盤に携わる多くの技術者、特にトンネル建設技術者にとって有効な解説書である。
斜面調査のための物理探査—地すべり・地下水・岩盤評価	伊藤 芳朗, 竹内 篤雄, 楠見 晴重 編集	吉井書店	¥6,090	361 p	1998	本書は、これから物理探査法を学び始めようとしている技術者にも理解しやすいように、各種探査法の原理と実施方法および解析方法を解説するとともに、建設・防災分野の斜面調査に関係した実施例を数多く挙げて物理探査の有効性を示している。また、山地地盤ならびに急傾斜地の調査に物理探査を適用する際の有効な調査法の解説をしており、物理探査実施・解析に関わるノウハウを数多く掲載している。